

東京都立高校の仮想化環境VMwere Horizonへの 《診るルン3》セットアップとデータ移行手順について

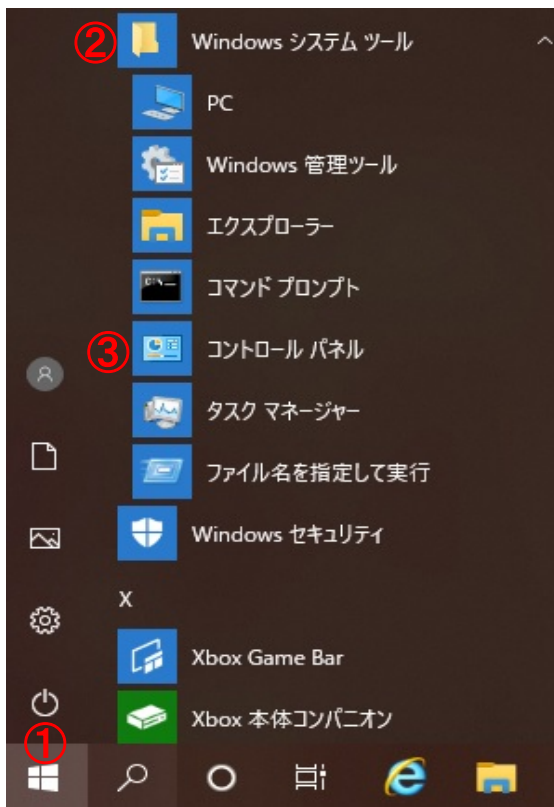
【最初にお読みください】

去る令和元年12月10日(火)に東京都教育庁総務部教育情報課にお伺いして、検証機を使って《診るルン3》のテストを行ってきました。その結果を踏まえて、下記の手順で「プログラムのインストール」と「診るルンデータフォルダー移行」を行ってください。

尚、仮想環境化へのデータ取込みは、全て学校内の経営企画室端末で行い、且つ取込んだデータの「無害化」を行ってからでの扱いになるとお聞きしております。

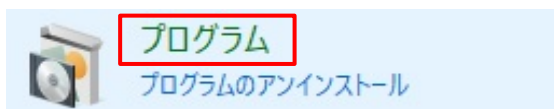
【手順1 環境設定】

1) 仮想端末のMicrosoft .NET Framework3.5(.NET2.0および3.0を含む)を有効にしてください。

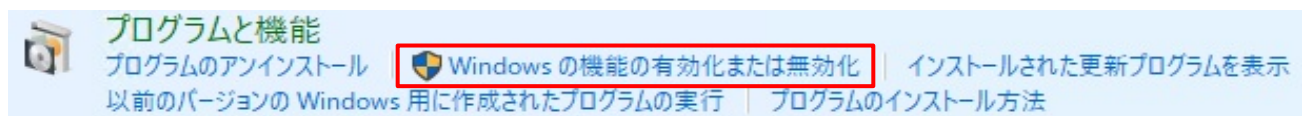


[スタート]
↓
[Windowsシステムツール]
↓
[コントロールパネル]
↓
[プログラム]
↓
[プログラムと機能]
↓
[Windowsの機能の有効化と無効化]

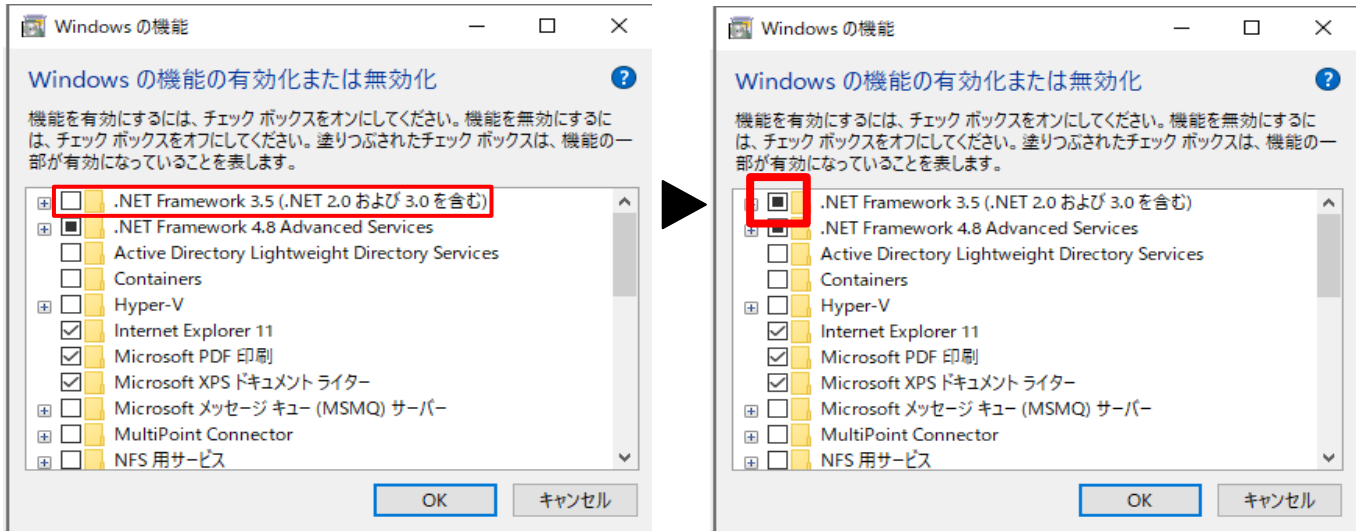
[プログラム]を押下してください。



[Windowsの機能の有効または無効化]を押下してください。



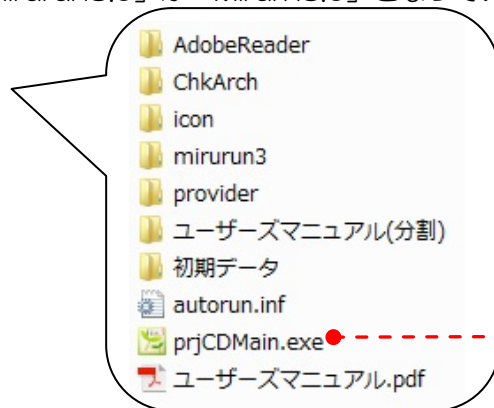
.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む) を「■」にしてください。



【手順2 プログラムインストール】

1) 経営企画室の端末で診るルンCD全体を仮想環境にコピーしてください。

フォルダー名は「Mirurun3.0」か「Mirurn3.0」となっています。



コピー後のフォルダー名も同名にしてください。

2) コピーしたファイルを無害化してください。

組織端末（経営企画室）でコピーされたデータを無害化システムで無害化してください。

3) 診るルンのインストール

無害化したMirurun3.0フォルダー内にある[prjCDMain.exe]をダブルクリックしてください。



[診るルン インストール]を押下してください。



①動作環境

[32bit]にしてください。

②診るルン インストール

インストールを開始します。

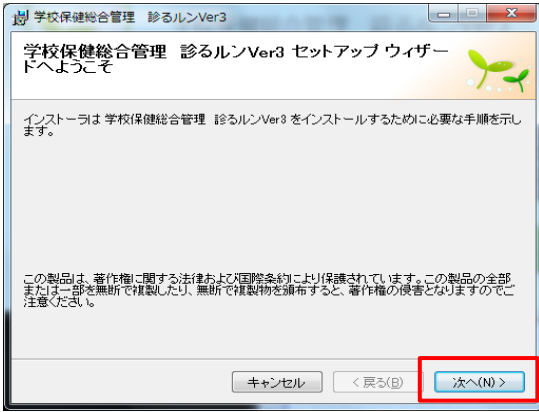
③診るルン必須コンポーネント

[Microsoft Access Database Engine]はインストール済みのため不要です。

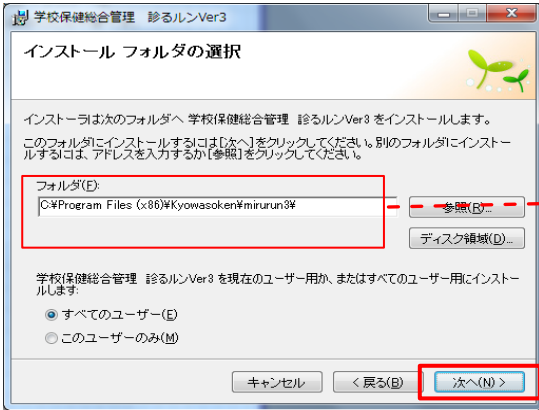
④Adobe Readerインストール

インストール済みのため不要です。

[次へ]を押下してください。

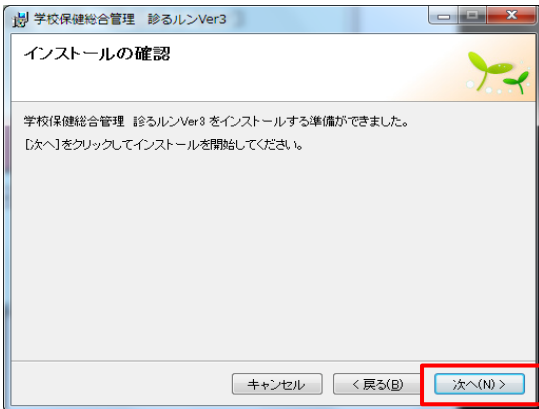


インストール先フォルダの選択画面が表示されます。変更の必要がなければ[次へ]を押下してください。

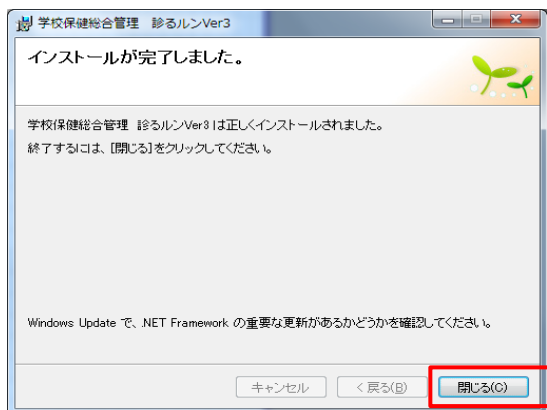


インストール先を記録してください。
バージョンアップ時のインストール場所です。

インストールの確認画面が表示されます。[次へ]を押下してください。インストールが開始されます。



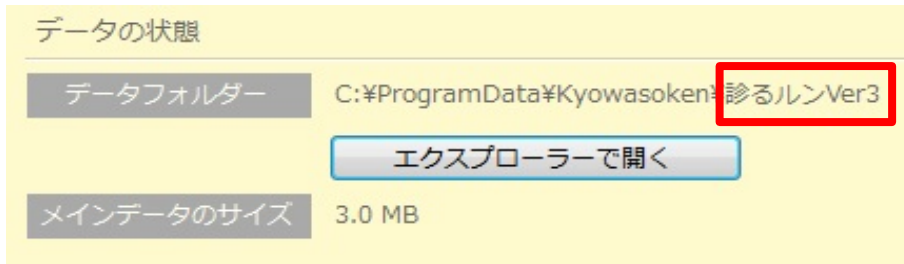
『インストールが完了しました。』とメッセージが表示されたら、画面を閉じてください。



【手順3 診るルンデータフォルダ移行】

1) 使用中のデータフォルダを移してください

使用中の診るルンを起動させ、最初のページ下方に表示されているフォルダを移してください。



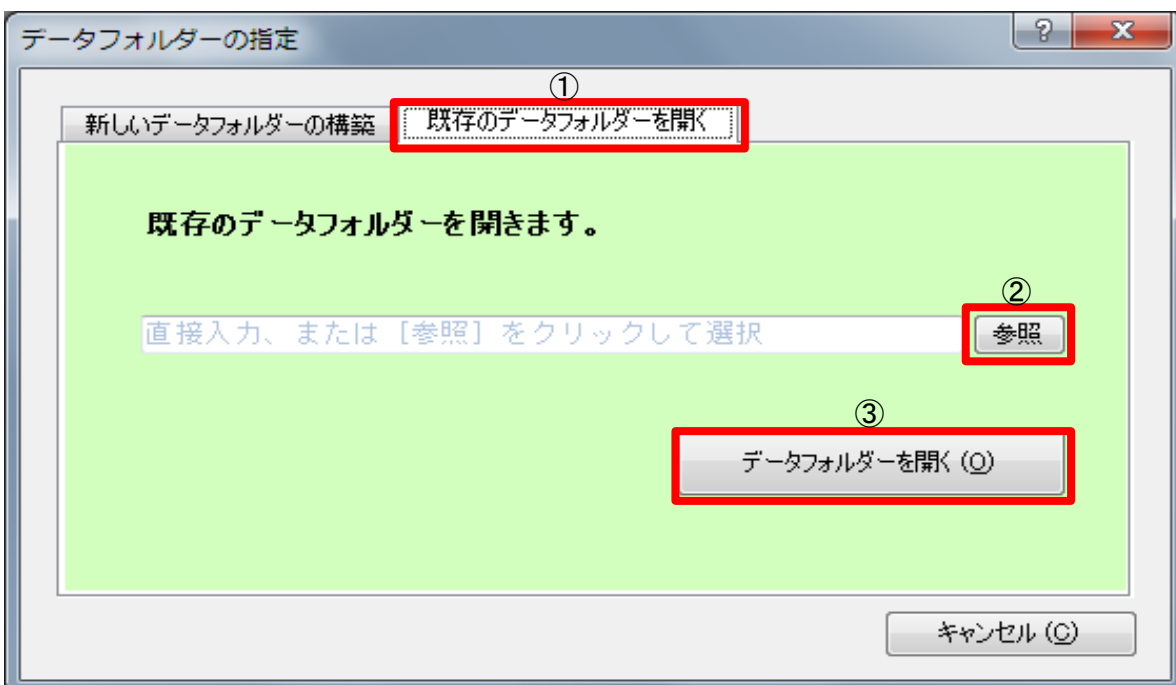
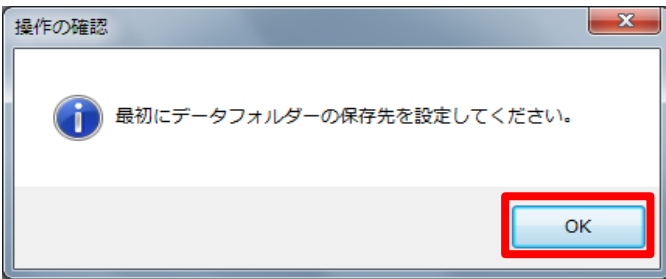
(最後の「¥」の後に表示されているフォルダです。
ProgramDataは隠しフォルダです、ICT担当者様にご相談してください。)

2) データフォルダを無害化してください。

データフォルダを外部媒体にコピーし、経営企画室の端末より、養護の先生に割り当てられている仮想環境にコピーしてください。

次に、コピーされたデータフォルダを無害化してください。

3) 診るルンを起動すると下記のメッセージが出ますので、以下の手順で進めて下さい。



① 「既存のデータフォルダを開く」

② 「参照」：上記 2) で無害化したデータフォルダを指定してください。

③ 「データフォルダを開く」を押すと、読み込みが開始されます。